



病院誌、看護研究誌の 需要と現況と展望



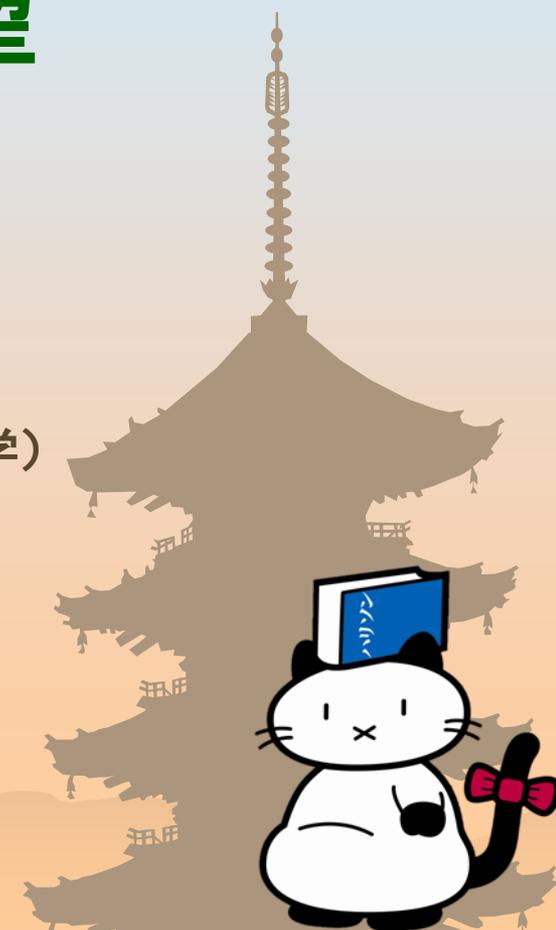
DRFmed-MIS29

(DRF主題ワークショップ 医学・看護学)

パネルディスカッション話題提供資料

2012.08.26

奈良県立医科大学附属図書館
和田崇





自己紹介に代えて

奈良県立医科大学機関リポジトリ 「GINMU」

Global Institutional repository of Nara Medical University

<http://ginmu.naramed-u.ac.jp/>



(ギンムではなくジンム) 橿原らしく神武天皇から

2009年11月本格運用開始

2012年8月現在約2000件の登録数



現在の状況（1）



過去三年間の統計

相互複写依頼総数5187件に対し約2割の931
件の病院誌、看護研究誌の依頼があった

※2割ということと少ないように思えるが、単純計算では
1日1回は依頼申込みがある事になる

現場で培われた「活きた情報」
が求められている



現在の状況（2）

所蔵機関が少ないため、入手先機関が偏る
（または割高な医中誌刊行会への申込）

最悪は手に入らない・・・（結構ある）

受付（他館からの申込）でも「貴館のみのご所蔵です」という申込が多い
（かくいう奈良医大も結構レア雑誌が多い？）



病院（図書館）への希望

- 是非機関リポジトリに参画してほしい

構築方法やその他ご相談はDRFまで
（メーリングリストもありますよ）

奈良県内でしたら当館までご相談ください
（嫌な顔はしませんよ）

病院の知名度も上がりますよ（たぶん）



問題点（真面目に）

■ 著作権の問題

著作権の所在が著作者自身にあるのか、編集委員会に帰属しているのか

病院誌の投稿規定やHPの機関誌紹介ページなどに機関リポジトリへ掲載する旨を告知する

※著作者への配慮も兼ねて、異議がある場合は取り下げにも応じる旨も記載する

■ プライバシーの問題

症例となった患者様のプライバシーに支障をきたす文献（症例写真に目線が入っていない、レントゲン写真などに名前が確認できるものがある）については、掲載しない方がよい（というかできない）

⇒掲載前に入念なチェックが必要



最後に . . .

- 病院誌、看護研究誌の供給は急務である

現場で求められている医療情報は、病院誌や看護研究誌の中にある

- その供給する方法の一つとして機関リポジトリがある

本来、学術情報は無料で公開されるべきもの
(医療情報ともなればなおさら)

単一館のみでの構築が難しい場合、「共同リポジトリ」という運用モデルもある





ご清聴

有難うございました。